

7. 文字の普及

文字は、国づくりや文化の発達に重要な役割を果たしました。情報を伝えたり、記録することに活かされたのです。文字は紙にも書かれてましたが、当時、紙は貴重品だったので、木簡（もっかん）と呼ばれる木の札も広く使われました。表面を削り取れば、何度も書くことができます。時には土器や瓦に文字が書かれたり、刻まれたりしたこともあります。文字を書くための道具、筆や硯（すずり）・墨（すみ）も遺跡から出土します。

木簡は様々な文書、記録、荷札などとして用いられ、さらに文字の練習にも使われました。また、役人の成績を記したものもあり、編集された書物とは違って、当時の生の情勢の記録として貴重な歴史研究の材料となります。